

# 学術研究設備の現状(イメージ)

大学共同利用機関

全国共同利用の附置研究所・研究施設等

附置研究所・学内共同利用の研究施設等

専門研究施設等

## 国際対応大型研究設備 (ビッグプロジェクト)

・百億円～数千億円

- ・国際共同研究
- ・国際研究拠点  
世界最先端・オンリーワン
- ・コミュニティの強い要望
- ・研究者が主体となって設計
- ・施設・設備一体

→ 百億を下回る  
場合でもこれら  
要素を持つもの

- (例)
- ・Bファクトリー
  - ・大強度陽子加速器
  - ・すばる望遠鏡
  - ・アルマ
  - ・大型ヘリカル
  - ・大型放射光 など

## 専用大型研究設備

・数億円～百億円

- ・全国共同利用機能を持つ  
(ブロック単位もあり)
- ・設備の大型化、高精密化、極限化

- (例)
- ・スーパー  
カミオカンデ

- (例)
- ・小型放射光
  - ・汎用望遠鏡
  - ・超高圧電子顕微鏡
  - ・スーパークリーンルーム
  - ・超低温ルーム
  - ・スーパーコンピュータ など

## 汎用大型研究設備

(大)

(中)

(小)

・数億円～十億円

- ・学内共同利用機能を持つ
- ・設備の高額化

- (例)
- ・液化ヘリウム装置
  - ・NMR
  - ・クリーンルーム
  - ・電子顕微鏡 など

・1億円～  
数億円

- ・新型設備の開発速度の速さ

- (例)
- ・測定機器
  - ・分析機器
  - ・回折機器
  - ・検出機器
  - ・情報ネットワークシステム など

・数千万円～  
1億円

## 基盤研究設備

・数億円以下

- ・各種基盤・支援の  
機能を持つものが多い
- ・各種基盤研究機器など